

1. 演奏 小林範子オリジナル曲

2. 翼をください 作詞山上路夫・作曲村井邦彦

一、いま私の 願いごとが
かなうならば 翼(つばさ)がほしい
この背中に 鳥のように
白い翼 つけてください

この大空に 翼をひろげ
飛んで行(ゆ)きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

二、いま富とか 名誉ならば
いらないけれど 翼がほしい
子供の時 夢見たこと
今も同じ 夢に見ている

この大空に 翼をひろげ
飛んで行きたいよ
悲しみのない 自由な空へ
翼はためかせ 行きたい

3. サンタルチア ナポリ民謡 訳詞堀内敬三

月は高く 海に照り 風も絶え 波もなし
月は高く 海に照り 風も絶え 波もなし
来よや友よ 船は待てり①

サンタ ルチア サンタ ルチア②

① ② 繰り返し

ほのかなる 潮の香(か)に
流るるは 笛の音(ね)か
ほのかなる 潮の香(か)に
流るるは 笛の音か

晴れし空に 月は冴(さ)えぬ①

サンタ ルチア サンタ ルチア②

① ② 繰り返し

4. 星めぐりの歌 作詞・作曲宮沢賢治

あかいめだまのさそり
ひろげた鷺のつばさ
あをいめだまの小さいぬ
ひかりのへびのとぐる

オリオンは高くうたひ
つゆとしもとをおとす
アンドロメダのくもは
さかなのくちのかたち

大ぐまのあしをきたに
五つのぼしたところ
小熊のひたいのうへは
そらのめぐりのめあて

5. 芭蕉布 作詞吉川安一・作曲普久原恒夫

一、海の青さに 空の青
南の風に 緑葉(みどりば)の
芭蕉は情(なさけ)に 手を招く
常夏(とこなつ)の国 我(わ)した島
沖繩(うちなー)

二、首里の古城の 石だたみ
昔を偲(しの)ぶ かたほとり
実れる芭蕉 熟(う)れていた
緑葉の下 我した島沖繩

三、今は昔の 首里天(すいてん)じゃなし
唐(とう)ヲウツむぎ はたを織り
上納(じょうのう)ささげた 芭蕉布
浅地(あさじ)紺地(くんじ)の 我した島
沖繩(うちなー) 沖繩(うちなー)

6. キエフのとりの歌 ウクライナ民謡

作詞木内宏治

一、果てなき空のかなた いとしい鳥は飛ぶ
丘に一人たたずみ 過ぎにし日を思う
心にしみる鳥の声 白鳥よ鶴よ
やさしき人は今いずこ 教えておくれ
あ…… あ…… あ…… あ……

二、夜霧にしずむ森よ ほの暗き谷間よ
うたごえ川面をゆく わが思いを乗せて
鶴のうたごえによせて とどけよ愛の歌
やさしき人は今いずこ 教えておくれ
Hum…… Hum…… Hum…… Hum……

7. 島唄 作詞・作曲宮沢和史

でいごの花が咲き 風を呼び 嵐が来た

でいごが咲き乱れ 風を呼び 嵐が来た
くり返す悲しみは 島渡る波のよう

ウージの森であなたと出会い
ウージの下で千代にさよなら

島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ①

島唄よ 風に乗れ 届けておくれ私の涙②

でいごの花も散り さざ波がゆれるだけ
ささやかな幸せは うたかたの波の花

ウージの森で歌った友よ
ウージの下で八千代の別れ

島唄よ 風に乗れ 鳥とともに 海を渡れ①

島唄よ 風に乗れ 届けておくれ私の愛を③

海よ 宇宙よ 神よ いのちよ
このまま永遠に夕風(ゆうなぎ)を

① ② 繰り返し

① ③ 繰り返し

8. 涙そうそう 作詞森山良子・作曲BEGIN

古いアルバムめぐり
ありがとうってつぶやいた
いつもいつも胸の中 励ましてくれる人よ
晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔
想い出遠くあせても おもかげ探して
よみがえる日は 涙そうそう

一番星に祈る それが私のくせになり
夕暮れに見上げる空 心いっぱいあなた探す
悲しみにも 喜びにも おもうあの笑顔

あなたの場所から私が 見えたら
きっといつか
会えると信じ 生きてゆく

晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔
想い出遠くあせても
さみしくて 恋しくて
君への想い 涙そうそう
会いたくて 会いたくて
君への想い 涙そうそう

9. ていんさぐぬ花 沖繩民謡

「ていんさぐ」とは「鳳仙花(ホウセンカ)」のこと
昔、赤い鳳仙花は女の子が爪を染めるのに使ったことから、いつの時代も心に染しみる親の教えと大切さを歌ったわらべうた

ていんさぐぬ花や
爪先(ちみさち)に染(す)みてい
親(うや)ぬゆしぐとうや
肝(ちむ)に染みり

天(ていん)ぬ群(む)り星(ぶ)しや
読(ゆ)みば読まりしが
親(うや)ぬゆしぐとうや 読みやならぬ
夜(ゆる)走(は)らす船(ふに)
子(に)ぬ方星(ふあぶし) 目当(みあ)てい
我(わ)ん生(な)ちえる親(うや)や
我(わ)んどう目当(みあ)てい

10. さとうきび畑 作詞・作曲寺島直彦

ざわわ ざわわ ざわわ①
広いさとうきび畑は②
ざわわ ざわわ ざわわ③
風が通りぬけるだけ④
今日もみわたすかぎりに
緑の波がうねる 夏の陽ざしの中で

①②③④繰り返し
むかし海の向こうから
いくさがやってきた夏の陽ざしの中で

①②③④繰り返し
あの日鉄の雨にうたれ
父は死んでいった 夏の陽ざしの中で

①②③④繰り返し
そして私の生まれた日に
いくさの終わりがきた
夏の陽ざしの中で
①②③④繰り返し

11. ホール・ニュー・ワールド

作詞 Tim Rice 訳詞湯川れい子・作曲 Alan Menken
ディズニー映画「アラジン」
見せてあげよう 輝く世界

プリンセス 自由の花を ホラ
目を開いて この広い世界を
魔法のじゅうたんに 身をまかせ
おおぞら 雲は美しく
誰も僕ら 引きとめ しばりはしない

おおぞら 目はくらむけど ときめく胸
初めて あなた見せてくれたの
すばらしい世界を

すぎて 信じられない
きらめく星は ダイヤモンドね

ア・ホール・ニュー・ワールド
目を開いて 初めての世界
ながれ星は ふしぎな
夢に満ちているのね

星の海を 新しい世界
ふたりきりで明日を 一緒に見つめよう

このまま ふたりが すてきな 世界を
見つめて あなたと いつまでも

12. ローレライ

ハイネ詩 訳詞近藤朔風・作曲ジルヘル

- 一、なじかは知らねど 心わびて
昔のつたえは そぞろ身にしむ
さびしく暮れゆく ラインの流れ
いりひに山々 あかく映(は)ゆる
- 二、うるわし少女(おとめ)の いわおに立ちて
黄金(こがね)の籥とり 髪のみだれを
梳(す)きつつくちづさぶ 歌の声の
くすしき魔力(ちから)に
魂(たま)もまよう
- 三、こぎゆく舟びと 歌に憧れ
岩根も見やらず 仰げばやがて
浪間に沈むる ひとも舟も
くすしき魔歌(まがうた)
謡(うた) うローレライ

13. アロハ・オエ

ハワイ民謡
作詩・作曲 Lili'uokalani・訳詞徳山たまき

優しく 奏ずるは ゆかし ウクレレよ

ハワイの波しずか 夢をのせて揺るる

アロハ・オエ アロハ・オエ①

こだまする あの調べよ②

アロハ・オエ アロハ・オエ①

さらば ハワイよ③

乙女の かき鳴らす うれし ギターレよ
果てなき 海こえて 遠く遠くひびけ

① ② ① ③ 繰り返し

14. 海

作詞林柳波・作曲井上武士

うみはひろいな おおきいな
つきはのぼるし ひがしむ

うみはおおなみ あおいなみ
ゆれてどこまで つづくやら

うみにおふねを うかばせて
いってみたいな よそのくに

うみはひろいな おおきいな
つきはのぼるし ひがしむ

15. 海

文部省唱歌

- 一、松原遠く消ゆるところ 白帆の影は浮かぶ
干綱(ほしあみ)浜に高くして
かもめは低く波に飛ぶ
見よ 昼の海 見よ 昼の海
- 二、島山間に著(しる)きあたり
漁火 光淡(あ)わし
寄る波岸に緩(ゆる)くして
浦風軽く沙(いさご)吹く
見よ 夜の海 見よ 夜の海

16. 椰子の実

作詞島崎藤村・作曲大中寅二

- 一、名も知らぬ 遠き島より
流れ寄る 椰子の実一つ
故郷(ふるさと)の岸を 離れて
汝(なれ)はそも 波に幾月(いくつき)
- 二、旧(もと)の木は 生(お)いや茂れる
枝はなお 影をやなせる
われもまた 渚(なぎさ)を枕

三、実をとりて 胸にあつれば
新なり 流離(りゅうり)の憂(うれい)
海(うみ)の日の 沈む(しずむ)を見れば
激(たぎ)り落つ 異郷(いきょう)の涙
思いやる 八重(やえ)の汐々(しおじお)
いずれの日にか 国(くに)に帰らん

川越(かわごへ)の歌 No17~21

17. 河童(かどう)の伊勢(いせ)まいり

作詞(しやくし)柿沼(かきぬま)宏(ひろ)・作曲(さくしゆ)小林(こばやし)範子(のりこ)

一、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア
(三部(さんぶ)輪唱(りんしょう) 繰り返し)
おいらは小畔(こあぜ)の 小次郎(せうじらう)河童(かどう)
いたずら好き(ずき)の 川(か)の主(ぬし)
仲(な)よしこよしの 三匹(さんびつ)で
お伊勢(いせ)まいりと しゃれ(しゃれ)こんだ
カッパ カッパ カッパカバア
(繰り返し)

二、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア
(三部(さんぶ)輪唱(りんしょう) 繰り返し)
おいらは伊草(いぐさ)の 袈裟坊(けさぼう)河童(かどう)
しっかり者(しかりもの)の 川(か)の主(ぬし)
たにしのふたに 術(じゆつ)を(を)かけ
小判(こばん)にみせて ふる(ふる)まった
カッパ カッパ カッパカバア
(繰り返し)

三、カッパ カッパ カッパカバア
カッパ カッパ カッパカバア
(三部(さんぶ)輪唱(りんしょう) 繰り返し)
おいらは小沼(こぬま)の かじ坊(かじぼう)河童(かどう)
ひょうきん者(きんもの)の 川(か)の主(ぬし)
いんちき(いんちき)ばれて 逃げ(にげ)かえり
二度(にど)と旅(たび)など 出(で)なかつた
カッパ カッパ カッパカバア
(繰り返し)

18. 雪塚(ゆきづか)稲荷(いなぎ)さん 作詞(しやくし)柿沼(かきぬま)宏(ひろ)・作曲(さくしゆ)小林(こばやし)範子(のりこ)

雪(ゆき)がこんこん ふる(ふる)町(まち)に
白(しろ)いきつねが まよい(まよい)こむ
町(まち)のいたずら こども(こども)たち
棒(ぼう)でたたいて いじめ(いじめ)っこ
天罰(てんばつ)てきめん 大(おほ)あたり
親子(おやこ)ともども おどろ(おどろ)いて
めん(めん)なさいね きつね(きつね)さん
社(やしろ)にまつり 神(かみ)とした
こわい火(ひ)の玉(たま) 出(で)なくなり
町(まち)じゅう商売(しょうばい) 町(まち)じゅう商売(しょうばい)
町(まち)じゅう商売(しょうばい) 大(おほ)はんじょう

19. だいだらぼっち 作詞(しやくし)柿沼(かきぬま)宏(ひろ)・作曲(さくしゆ)小林(こばやし)範子(のりこ)

一、山(やま)をつくつた 神(かみ)さまは
だいだらぼっちと いう(いう)んだよ
秩父(ちちぶ)につくつた お山(おやま)もあるよ

二、富士(ふじ)のお山(おやま)に 腰(こし)かけて
琵琶湖(びわこ)の水(みづ)で 顔(かほ)あらう
雲(うみ)さえ見(み)下(くだ)ろす 大(おほ)きな男(おとこ)

三、小畔(こあぜ)川(がわ)に(こあぜがわ)そば上(じょう)式(しき)の
山崎(やまざき)さんちの くぼ地(こぼち)こそ
だいだらぼっちの 大(おほ)足(あし)あとさ

四、と(と)なり狭山(せうざん)の 柏原(かしはら)
林(はやし)のくぼ地(こぼち)が かた足(かたあし)で
ひとつ(ひとつ)のふんばり 一(いち)里(り)もあつた

20. 牛頭(ぎゆうとう)天王(てんわう)さま 作詞(しやくし)柿沼(かきぬま)宏(ひろ)・作曲(さくしゆ)小林(こばやし)範子(のりこ)

牛頭(ぎゆうとう)天王(てんわう)(ごずてんのう)とは 誰(たれ)だ(だ)ら(ら)う
牛頭(ぎゆうとう)天王(てんわう)とは 誰(たれ)だ(だ)ら(ら)う
疫病(えびょう)死(し)神(かみ)け(け)ち(ち)ら(ら)した
牛頭(ぎゆうとう)天王(てんわう)とは 誰(たれ)だ(だ)ら(ら)う
こわくて強(たか)い神(かみ)様(やう)だ こわくて強(たか)い神(かみ)様(やう)だ

川越(かわごへ)夜(よ)戦(せん)の決戦(けつせん)で 川越(かわごへ)夜(よ)戦(せん)の決戦(けつせん)で
兵士(へいし)を救(たす)う 守(まも)り神(かみ) 守(まも)り神(かみ)
牛頭(ぎゆうとう)天王(てんわう)さま おま(おま)ち(ち)どう
文月(ふみづき)真夏(まなつ)の ご祭(ごまつ)礼(れい)
屋台(やたい)とおみこし くり出(で)して
きつね(きつね)と獅子(しし)が かぐら(かぐら)舞(ま)い
にぎ(にぎ)やか(か)囃子(はやし)で たの(たの)しいな

21. 九十川

作詞柿沼宏・作曲小林範子

南古谷を 流れる川は
どうして そうして 呼ばれたの
くねくね曲がって 曲がって 九十も①
曲がって くねった 川だから②
① ② 繰り返し

22. 花は咲く

作詞岩井俊二・作曲菅野よう子

真っ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい あの街を 思い出す
叶えたい 夢もあった 変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい あの人を 思い出す
誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に
花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に①
花は 花は 花は咲く 私は何を残したんだろう②

夜空の 向こうの 朝の気配に
わたしは 懐かしい あの日々を 思い出す
傷ついて 傷つけて 報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい あの人を 思い出す
誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に
① ② 繰り返し
① ② 繰り返し

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
いつか恋する君のために

23. 七夕

作詞権藤はなよ/作詞補林柳波・作曲下総皖一

ささの葉さらさら のきばにゆれる
お星さまきらきら きんぎんすなご
ごしきのたんざく わたしがかいた
おほしさまきらきら そらからみてる

24. 浜辺の歌

作詞林古啓溪・作曲成田為三

一、あした浜辺を さまよえば
昔のことぞ忍ばるる
風の音よ 雲のさまよ
寄する波も 貝の色も
二、ゆうべ浜辺を もとおれば
昔の人ぞ 忍ばるる
寄する波よ 返す波よ
月の色も 星の影(かげ)も

25. おおブレネリ

スイス民謡 作詞松田稔

おおブレネリ あなたのおうちはどこ
わたしのおうちは スイツランドよ
きれいな湖水(こすい)の ほとりなのよ

ヤッホ ホトゥララ①

ヤッホ ホトゥララ②

ヤッホ ホトゥララ③

① ② ③ 繰り返し

ヤッホ ホトゥララ ヤッホホ

おおブレネリ あなたの仕事はなに
わたしの仕事は 羊飼(かい)よ
おおかみ出るので こわいのよ

ヤッホ ホトゥララ①

ヤッホ ホトゥララ②

ヤッホ ホトゥララ③

① ② ③ 繰り返し

ヤッホ ホトゥララ ヤッホホ